

令和3年度 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）に係る
事故繰越要件等事前確認票

| | |
|----------|-------|
| 研究代表者氏名： | |
| 研究種目： | 課題番号： |

1. 事故繰越承認要求額の内訳 (金額：円)

| 合計 (①+②) | ①直接経費 (計) | 費目別使用内訳 | | | | ②間接経費 |
|-------------|--------------|---------|----|------------|-----|-------|
| | | 物品費 | 旅費 | 人件費・謝 金 | その他 | |
| | | | | | | |
| (算定根拠) | | | | | | |

2. 以下の点の全てに該当すること（該当しない場合でないこと）を確認してください。

【事故繰越要件の確認】

- ① 令和3年度の研究課題であり、かつ繰越（翌債）時の繰越事由と明確に異なっていること。
〈該当しない場合〉
× 繰越（翌債）となった要因と同じ場合。
- ② 繰越（翌債）後の真に避け難い事故（社会通念上、ものごとの正常な運行を妨げるような出来事と判断されるもの）により、年度内に支出が終わらない状況であること。
〈該当しない場合〉
× やむを得ない（避け難い）ものであっても事由が薄弱である場合。
× 避け難い事故が繰越（翌債）後の研究計画開始前に既に発生・判明していた場合。
- ③ 繰越（翌債）後の研究計画を変更し、翌年度まで延長することで当初の研究目的を達成することができること。
〈該当しない場合〉
× 当該年度中にやり繰り（再調整）が可能な場合。
× 翌年度まで延長しても、完了の見込みがない場合。
× 当初の研究目的とは異なる研究計画の変更となる場合。
× 変更の内容が不合理な内容である場合。
- ④ 翌年度に繰り越す経費は交付申請書において確認できる研究計画の一部に係る経費であり、積算の内容及び金額は妥当であること。
〈該当しない場合〉
× 余った補助金。（余剰金）